

四国医療工学専門学校

学校新聞8月号

学校の行事や魅力を毎月お届けします！



NICE

Pick UP!

頑張る学生をご紹介します！

おはら そよか
小原 爽雅 さん

臨床工学学科3年

土佐女子高等学校出身



今回は、臨床工学学科3年生の小原 爽雅さんにインタビューをしました。
小原さんは今年度の臨床工学学科3年生の就職内定第1号で、高知医療センターに就職が内定しています。
そんな頑張る小原さんに、いくつかの質問をしました！



Q & A

Q1 臨床工学技士を志したきっかけは？

医療系に興味があり、インターネットで検索していた時に臨床工学技士を見つけました。高知県内に学校があり女性でも働ける職業だと思い志望しました。

Q2 本校に進学を決めた理由は？

高知県内にあって13年連続全員合格という実績があったので決めました。また、家から通うことができるのも良かったです。

Q3 今、どのようなことを学んでいますか？

第2種ME技術実力検定試験の問題を中心に勉強しています。国家試験の問題と重なるところも多いので頑張っています。やるからには絶対合格したいです。

Q4 学校生活は？

楽しいです。友達と話したり、分からない問題を一緒に解いたりしています。先生との距離感が近くいろんなことを気軽に話してくれるので楽しいです。

Q5 本校の良いところは？

礼儀、礼節など人間性を高めてくれるところが良いところだと思います。挨拶や言葉遣い、声の大きさなど、社会に出る上で大切なことをきちんと教えてくれます。

Q6 臨床実習での学びは

現場での臨床工学技士の仕事はもちろん、臨床工学技士として、座学では学べない患者さんとの接し方や対処法を学ぶことができました。

Q7 高知医療センターに就職しようと思った理由は？

祖母がお世話になっていたことで、私の中で身近な存在でした。恩返しではないですが、スタッフの一員として働きたいと思い志望しました。総合病院で若いうちに色々な経験をしておきたかったこともあります。

Q8 今後の目標は？

なによりも、国家試験に合格することです。気持ちを強く持って高知医療センターで長く勤めることができるようにしたいです。

Q9 今強く思うことは？

他人に優しくすることです。

患者さんは、心身ともに弱っている方が多いので、私自身もバランスを取って患者さんと接することができるようにしたいです。

Q10 高校生に向けて一言

自分が一番興味あることに全力で取り組んでみるのが大切だと思います。勉強できる場所に行けば何にでもなれるので、選択肢を広げるような取り組みをすれば良いと思います。早く決めるのもよし、遅く決めるのもよし、です。自分の人生なので好きなようにやりたいことをしてください。

7/19医療体験出張講座を開講しました

医療情報学科

臨床工学学科

7月19日、高知県立清水高等学校を訪問して1年生から3年生の希望者10名に医療体験を行いました。

血圧測定、除細動器、パルスオキシメーター、電気メス、シリンジポンプ、医療費計算を体験していただきました。体験の中で、「電気メスがすごく切れてビックリ!」「穿刺は初めてなので緊張します。」「除細動がうまく行って良かったです。」など、様々なリアクションを頂きました。

全体を通して、「医療系を志望しているので、今回の経験を活かしていきたい。」「看護師を志望しているので貴重な経験となりました。ありがとうございました。」とうれしい感想をいただきました。



7/20臨床実習報告会を開催しました

臨床工学学科

7月20日、臨床工学学科3年生による臨床実習報告会を開催しました。3年生たち一人ひとりが発表5分と質疑応答を行いました。それぞれの学生が、実習の中で一番興味を持ったこと、報告したことについて発表し、実際の現場で興味を持った様々なテーマが取り上げられました。

報告を終えた学生に話を聞いてみると、「発表をする機会やパワーポイントを使う機会があまりないので、将来に向けて貴重な経験になった。」という声が聞かれました。また、「緊張したけれど、大きな声で発表できたので満足です。」とのこと。さらに、「思っていたより報告の出来が良く、先生に褒めてもらえて嬉しかった。」といった声もありました。

報告を聞いていた1・2年生が真剣な顔で耳を傾けていたことも印象的でした。臨床工学学科全員にとって良い学びの機会になったのではないかと思います。



7/22・8/5・8/26

医療情報学科

臨床工学学科

オープンキャンパスを開催！！

7月22日、夏のスペシャルオープンキャンパスを開催しました。

医療情報学科では『ドクターズクラーク（医師事務作業補助者）を知ろう』というテーマで、実際にカルテの入力や処方せんの作成にチャレンジしていただきました。一方、臨床工学学科では『病院見学に行こう！』ということで、近森病院にご協力を頂き、臨床工学技士の仕事を見学させていただきました。

医療情報学科の参加者からは「ドクターズクラークの体験をして、その仕事の重要さが分かりました。」「医療事務には幅広く働く場所があると知って安心しました。」といった感想が聞かれました。臨床工学学科の参加者からは「臨床工学技士は機械を扱うだけだと思っていたけど、責任感と正確性が大事だと感じました。」「初めて臨床工学技士が働く現場を見れてとても良い体験になりました。より臨床工学技士を目指したいと思いました。」といった感想が聞かれました。

医療現場を実際に見て、医療従事者から話を聞く事は大変貴重な体験ですので、今回の見学で臨床工学技士についてより理解を深めていただけたのではないかと思います。

8月5日のオープンキャンパスでは、医療現場で活躍されている卒業生の方にお越しいただき、在学中や現在のお仕事についてお話いただきました。

8月26日のオープンキャンパスでは、医療情報学科と臨床工学学科コラボの医療体験スペシャルを行いました。『調剤薬局での調剤補助体験』『医療事務・ビジネスマナークイズ』『内視鏡を操作してみよう』『血圧計・バイタル測定・穿刺体験』『電気メスで肉を切ってみよう』と5つのブースを用意して楽しみながら医療に触れていただきました。参加した方からは、「電気メスがとても切れ味がよくてすごかった。」や「クイズがなかなか難しくておもしろかった。」「穿刺を初めて出来たので良かった。」といった声が聞かれました。

また今回は、スペシャルイベントとして高知福祉専門学校とコラボしたスタンプラリーと夏祭りイベントを実施しました。夏祭りイベントでは『ピンポンカップインゲーム』『ダンボールフリสบビー』『スーパーボールすくい』『ペットボトルフリップ』をしていただき、それぞれで得た得点に応じてお菓子のつかみ取りをしていただきました。「スーパーボールすくいなんて、久しぶり！」「ダンボールフリสบビーがなかなか難しかった。」「お菓子がたくさんもらえて良かった。」など、笑顔で楽しんでいただけた様子。イベントを運営していた教職員と学生も、夏の終わりに楽しい思い出ができました。

